



おおつか あきら
大塚 陽

東京都杉並区出身。2017年に初めて来町。2019年からは中之条ビエンナーレ作家として参加。温泉と山の景色、そして美味しいご飯の魅力に惹かれて来町頻度が年々増えていく。2024年4月から地域おこし協力隊として中之条ビエンナーレ事務局で活動。



中之条で暮らす。

地域おこし協力隊



バスツアーの様子



第9回ビエンナーレクロージングに出演いただいた獅子舞保存会の皆様によるパフォーマンス

今年度から地域おこし協力隊として中之条町民になり、もうすぐ1年が経とうとしています。
この町に住み始める前から、地域のお祭りに興味を持っていた。中之条には、東京では残せなかった祭りの景色がいくつも残っているように感じます。
2023年のビエンナーレでご協力いただいた折田獅子舞保存会の皆様とは、継続して関わりたいと思い、去年4月と9月には折田の獅子舞の見学をさせていただきました。折田の獅子舞には「かさぼこ」という小さな子どもが務める役があります。高下駄を履いた天狗や、背の高い3匹獅子と並んで歩き、ささらを鳴らして舞う姿はとても微笑ましいです。将来彼らが大きくなった頃にはあの大きな獅子頭をかぶって舞う日がくるのかもしれない。

昨年6月には、旧廣盛酒造にて移住作家の西島雄志さんが主催した、アートフェア中之条（AFN）



AFN会期中に行われたライブドローイングでは沢山の人が集まりました

が開催されました。作家としての作品出展と共に運営スタッフや設営の協力にも関わらせていただきました。購入する視点で作品を見るのは、ビエンナーレを何度も見えてきたお客様にも新鮮な感覚を与えたのではないかと思います。このようなビエンナーレから派生した企画ができるのは、この町ならではの試みです。今後さらに面白い企画が生まれるかもしれない、そんな希望を感じる貴重なイベントとなりました。
中之条ビエンナーレは開催1年前から準備が始まります。昨年9月に説明会、会場下見バスツアーを行い、年末には各作家の会場が決定。春からはいよいよ作品の制作が始まります。第10回となるビエンナーレが良いものにできるよう、準備していきたいと思っています。

問い合わせ 役場地域共創課 企画・デジタル戦略係
☎75・8837（直通）

地域おこし協力隊については、町ホームページ（ID1259）をご覧ください

